サブドレン他水処理施設の運用状況等

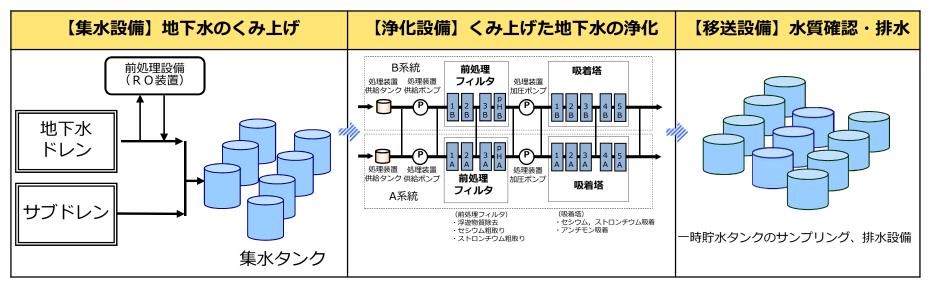
TEPCO

2021年10月28日

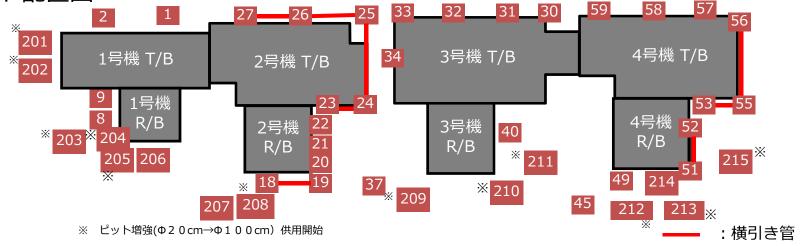
東京電力ホールディングス株式会社



・設備構成



・ピット配置図



1-2. サブドレンの運転状況(24時間運転)



- ■山側サブドレン設定水位の L 値をT.P.+5,064mm から稼働し、段階的に L 値の低下を実施。
 - 実施期間:2015年 9月17日~、 L値設定:2021年5月13日~ T.P.-650mmで稼働中。
- ■海側サブドレン L 値をT.P. +4,064mm から稼働し、段階的に L 値の低下を実施。
 - 実施期間:2015年10月30日~、 L値設定:2021年5月13日~ T.P.-650mmで稼働中。
- サブドレンピットNo.30,37,57を復旧し、2018年12月26日より運転開始。No.49ピットは復旧後、2020年10月9日より運転開始。
- ■サブドレン集水設備No.4中継タンク内の油分確認により、No.4中継サブドレンピットのうち、停止中であったNo.40,210,211について、ピット及び移送配管内の油分回収を実施し、汲み上げを再開した。
 - ・'20/11/26 No.4中継タンクの水位計異常に伴い、No.4中継サブドレンピットを停止
 - ・'21/1末 No.4中継タンク内の油回収及び清掃を実施し、No.4中継サブドレンピット(8箇所)のうち、油分が確認されたNo.40及び 近傍のピット210,211以外の5ピットの稼働を再開
 - ・'21/3 No.40ピットの油分を回収、経過観察時、適宜油分回収を継続。
 - ・'21/7末 No.40から中継タンクの移送配管の清掃を行い、1時間程度の試運転の実施。(油分1ppm以下)
 - ・'21/8中 No.40,210,211ピットの汲み上げ再開(初期は短時間)
 - ・'21/9 No.40,210,211ピットは、9/6より連続運転。設定水位(L値)はNo.40:T.P.+1,000、No.210,211はT.P.1,500で運用中。

■ その他トピックス

特になし



- ※1 台風19号対応として10月12~15日の間、一時的に全ピットのL値をT.P.1400mmに変更した。
- ※2 1月の大雨に備えて基本の L 値をT.P.1300mmとし、2月7日に水位設定値を元に戻した(L値:T.P.-0.15 m)

1-3. 至近の排水実績



- サブドレン他水処理設備においては、2015年9月14日に排水を開始し、2021年10月18日までに1,689回目の 排水を完了。
- 一時貯水タンクの水質はいずれも運用目標(Cs134=1, Cs137=1, 全β=3, H3=1,500(Bq/L))を満足している。

排水日		10/14	10/15	10/16	10/17	10/18
一時貯水タンクNo.		G	Н	J	В	С
浄化後 の水質 (Bq/L)	試料 採取日	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13
	Cs-134	ND(0.79)	ND(0.72)	ND(0.85)	ND(0.72)	ND(0.53)
	Cs-137	ND(0.69)	ND(0.54)	ND(0.73)	ND(0.80)	ND(0.73)
	全β	ND(1.7)	ND(2.0)	ND(0.57)	ND(1.7)	ND(1.7)
	H-3	770	870	830	830	850
排水量(m³)		683	732	706	668	640
浄化前 の水質 (Bq/L)	試料 採取日	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11
	Cs-134	ND(6.3)	ND(5.5)	ND(5.3)	ND(5.1)	ND(6.3)
	Cs-137	100	100	92	130	110
	全β	_	_	-	_	420
	H-3	810	910	860	910	930

^{*}NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

^{*}運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bg/Lに下げて実施。

^{*}浄化前水質における全ベータ分析については、浄化設備の浄化性能把握のため週一回サンプリングを実施。



